

会 員 連 絡

2012年7月31日
日本哲学会事務局

I 第64回総会及び第71回大会

2012年5月12日(土)、13日(日)の両日、本学会第64回総会及び第71回大会が大阪大学豊中キャンパスにおいて開催され、参加者は延べ約560名で盛況でした。また、11日(金)の哲学教育ワークショップには約80名ほど、13日(日)午前に行われた哲学カフェ(大阪大学と共催)には約30名が参加しました。

総会における報告及び議決事項は下記の通りです(敬称略)。

議長挨拶	須藤 訓任
会長挨拶	飯田 隆
物故者への黙とう	
被災会員会費免除措置について	飯田 隆
日本哲学会研究倫理規定の改定について	飯田 隆
平成23年度一般報告	中畑 正志
国際交流活動報告	座小田 豊
前年度決算報告	三浦 謙
会計監査報告	鈴木 泉
本年度予算案審議	三浦 謙
編集委員会報告	加藤 泰史
林基金運営委員会報告	野家 啓一
若手奨励賞表彰式	選考経過報告 加藤 泰史、贈呈者 飯田 隆 受賞者 馬場 智一氏

「ユダヤ哲学～西欧哲学批判へ
—ジャコブ・ゴルダンと初期レヴィナス」

① 一般報告

2011年度日本哲学会事業報告は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

② 会計報告

2011年度日本哲学会会計報告は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

2012年度日本哲学会予算は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

II 来年度大会 第65回総会及び第72回大会

① 開催場所 お茶の水女子大学

② 日時 2013年5月11日(土)・12日(日)

(なお大会前日10日(金)夕方に哲学教育ワークショップが行われます。)

③ 来年度大会のテーマ並びに発表者が、以下のように決まりました(敬称略)。従来の「共同討議」に替えて、「学協会シンポジウム」「インターナショナル・セッション」を新設することになりました。また、男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ主催のワークショップが開かれます。さらに学会主催のワークショップとは別に、新たに一般会員企画によるワークショップを公募することになりました。(詳細は学会ホームページをご覧ください。)

5月10日(金) 大会前日夕方

・哲学教育ワークショップ

5月11日(土) 第1日

・一般研究発表

・評議員会

・第65回 総会

・シンポジウム 「知識・価値・社会～認識論を問い直す」

提題者 金森 修

伊勢田 哲治

松葉 祥一

司会 河野 哲也

戸田山 和久

5月12日(日) 第2日

- ・一般研究発表
- ・男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ主催ワークショップ 「哲学の女性嫌い」(仮)
- ・理事会
- ・一般会員企画公募ワークショップ
- ・国際ナショナル・セッション 「メタ倫理についてのワークショップ」(仮)
提題者 ヴォルフガング・エアトル 鈴木 真 田村 圭一
司会 成田 和信
- ・学協会シンポジウム 「古代ギリシア哲学」(仮)
提題者 中畑 正志 神崎 繁
司会 未定

一般研究発表及び会員企画公募ワークショップを公募いたします。詳細については学会ホームページをご覧ください。尚、使用言語は、日本語のほか、英語、独語、仏語も受け付けます。

応募締切: 2012年11月9日(金) ファイル当日必着、印刷物は当日消印有効

III 男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ発足のお知らせ

2005年から1年間活動した男女共同参画推進に関するワーキンググループの活動を踏まえ、2012年5月に男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループが新たに発足しました。日本哲学会における男女共同参画推進ならびに若手研究者支援のあり方を検討すべく、すでに3回の会合が開かれました。制度面での改善だけでなく哲学という学問の内実にも踏み込んだ取り組みを行っていくべきだという問題意識が共有されております。来年の大会では「哲学の女性嫌い(仮)」と題したワークショップを開催いたします。コメンテーターの公募など、詳細は12月以降に順次公表していく予定です。

IV 「大会時託児サービス希望調査」へのご協力をお願い

日本哲学会では、大会開催時の託児サービス提供の可能性を検討しております。一定数の会員の皆様からご要望がある場合にはできるだけ実現に向けた対応をしていきたいと考えております。つきましては会員の皆様がどのような希望やお考えをお持ちか、調査することになりました。ご意見・ご要望がごありの方は、日本哲学会事務局まで件名「託児サービス調査」でメールにて以下の項目についてお知らせください。

1.年齢、 2.人数、 3.時間帯、 4.負担してもよい費用の上限、 5.その他のご要望

なお、調査の締め切りは9月23日とさせていただきます。

V 国際交流委員会

旧来の国際交流ワーキンググループを引き継ぐかたちで、国際交流委員会が発足しました。委員は納富信留(委員長)、榊原哲也、ジェレマイア・オルバーグ、伊勢俊彦、周藤多紀、森田團、杉田孝夫(事務局)の7名です。委員の任期は、2012年5月から2015年5月までの3年間とし、以後は2015年からの評議員・理事の改選・任期に時期を合わせることとなりました。ただし事務局杉田委員と榊原委員は2013年5月までとし、新事務局からの1名、新評議員からの1名に交代することになります。

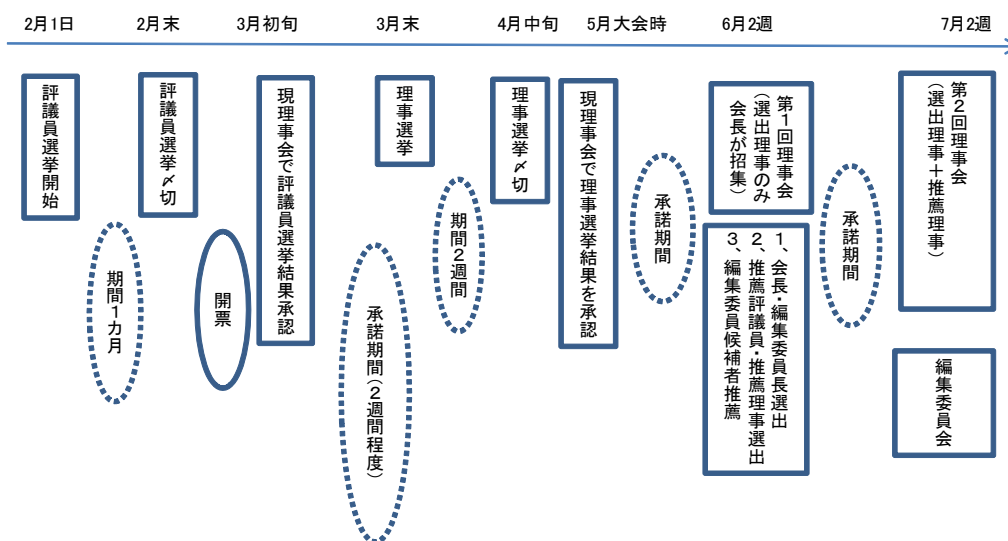
当面の活動として、(1)来年2013年8月アテネで開催予定の世界哲学会にむけて、日本哲学会主催の二つのセッションの企画を検討しております。(2)第4回日中哲学フォーラムは、2014年に中国で開催という方向で折衝しております。(3)今後韓国哲学会など各国の哲学会との研究連携の可能性を検討します。(4)国際交流基金を新たに開設しました。会員および各方面からのご寄付を募りながら、本学会の国際交流活動の補助に充てて参ります。詳細は事務局にお問い合わせください。

VI 役員選挙

今年度は役員改選の年です。評議員選挙の投票用紙は来年2013年2月1日付で発送いたします。投票締め切りは2月末日です。評議員選挙開票決定後、その中で理事と会計監査の選挙を行います。

<今後のスケジュール>

今回の選挙はおおよそ以下のような流れを予定しています。
日程については、多少前後する可能性もあります。



VII 林基金

第1回の林基金若手研究助成は『哲学』63号掲載の居永 正宏氏(大阪府立大学大学院人間社会学研究科)に決定しました。

VIII 公募論文

日本哲学会は機関誌『哲学』に掲載する論文を募集しております。論文を投稿しようとする会員の方は学会ホームページに記載されている要領で応募して下さい。

IX その他

- ① 新しい『会員名簿』を同封いたします。記載の内容に変更があれば随時、事務局宛てにご連絡下さい。

事務局への連絡について

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学本館302 杉田孝夫研究室内

e-mail : nittetu@philosophy-japan.org

事務局員は常駐しておりませんので、事務局へのお問い合わせやご連絡は郵便またはEメールをお願いいたします。

- ② 会費納入のお願い

会費を未納の方は至急お納め下さい。今年度会費(6,000円)を含めたご請求額は封筒の宛名ラベルの右下に表示してあります。同封の振込用紙にて振込をお願いいたします。なお請求額は2012年7月23日現在の資料に基づいております。行き違いの節はご容赦下さい。領収書は郵便振替の払込書をもってかえさせていただきます。

- ③ 会員資格について

近年連絡先不明の長期会費未納会員の方が多く、日本哲学会の運営および財政上不都合が生じております。日本哲学会では、2008年度より会費未納猶予期間を短縮し、4年以上会費未納の会員は日本哲学会会員資格を停止するものとし、学会誌『哲学』等の発送も停止しております。4年目の会費年度中に会費を納入していただけない場合は、会員資格が停止されますのでご注意下さい。なお、会員資格を停止された方が資格の復活を希望される場合は、会費未納期間分の会費24,000円分(6,000円×4年分)の支払いを条件といたします。

以 上